湖池屋新聞

第11号
2021年5月17日(月)

編集長兼カラムーチョ担当の小林です！**埼玉・久喜にある全国唯一の湖池屋アンテナショップ「別邸湖池屋」**発、社員の声が聴けるオリジナル新聞。GWで少し間が空いてしまいましたがみなさまお元気でしょうか？

緊急事態宣言で外出もできないので、お家で新たなチャレンジをするには良いタイミングかもしれませんね。僕はGW中「お酒を一切断つ」というチャレンジに成功しました！

毎日飲酒するのが習慣になってしまっていたのですが、その気になればできるものですね。うれしかったので成功祝いに、日本酒まるまる一本を痛飲しました……。元の木阿弥です。

「湖池屋新聞」バックナンバーはQRコードから！

湖池屋新聞 編集長　小林 重文
(株)湖池屋 マーケティング部
カラムーチョ担当

今週は珍しく（？）新商品がないので、特別企画を勝手に考えました！ **湖池屋やスナック菓子にまつわる豆知識がクイズ形式で楽しく学べます。**明日からさっそくお友達との話の種に、「ねえねえ、知ってる？」とニヤニヤしながらトリビアを披露すれば一躍人気者まちがいなし……とまでは保証できませんが、なんだかスナック菓子が食べたくなることまちがいなしです。ではどうぞ！

特別企画　湖池屋スナッククイズ！

第１問

湖池屋で最初に発売されたポテトチップスは何味？

①うすしお味　②のり塩　③ガーリック

第２問

一般的な６０ｇのポテトチップス一袋に、じゃがいもは約何個使われている？

①１個　②２個　③４個

第３問

カラムーチョの「ムーチョ」はどういう意味？

①「もっと」　②「めっちゃ」　③「うまい」

【答え】

第１問　正解は１９６２年発売の**「②のり塩」**！　うすしお味じゃないんです。創業者の小池和夫が**バーで出会ったポテトチップスに感動したのが始まり。**どんな味付けが日本人の好みに合うのか、試行錯誤を重ねてたどりついた答えが、海苔の旨味と唐辛子のキレをきかせた元祖のり塩だったのです。そして１９６７年、**日本で初めて量産化に成功したポテトチップスも、湖池屋のり塩。**ちなみに「ガーリック」は１９７０年発売。こちらも５０年以上続くロングセラーなのです。

第２問　正解は**「②２個」**！　大きさによってもちろんばらつきはありますが、大人の握りこぶし大のじゃがいもとした場合です。ちなみに**じゃがいもはナス科の植物。**じゃがいも科というのはないんですね～。

第３問　正解はスペイン語で**「①もっと」**！　英語の「ＭＯＲＥ」にあたる意味です。「辛いものをもっと」という**エネルギッシュでラテン的な勢い**を込めて名付けられました。

以上！お楽しみいただけましたでしょうか？　**来週はポテトチップスではない、全く新しい商品を紹介します。**お楽しみに！

Pinky
ピンキーフレッシュ
FRESH
歯周サポート

湖池屋の乳酸菌入り商品
機能性表示食品

歯周サポート！ 健康な歯ぐきを維持する「乳酸菌LS1」を一粒に二千万個も配合。歯みがきの後になめれば、マスクしてもお口スッキリ！ ニューノーマルのお口ケアに最適です。

【届出表示】本品には、乳酸菌LS1（*Lactobacillus salivarius* TI2711株）が含まれます。乳酸菌LS1は、健康な歯ぐきを維持する機能があります。歯周組織の健康が気になる健常な方に適しています。